

第3回総合計画審議会に係る意見と回答・対応

項目	資料	意見 (は第3回審議会での意見等、 は意見提出シートによる意見等)	回答・対応
将来人口推計	・資料 1 (第2回 資料 4)	上越市トータルの人口推計だけでなく、13区プラス旧上越市の地域別の推計があるとよい。地域別の人口を推計して、その中で10年後、20年後に全体の上越市が維持できるような人口の配分や分布を是非考えてほしい。	地区別人口を試算しましたので、資料でご確認ください。 「土地利用構想」の中で、地区別の人口動向の違いをふまえた方針を提示しています。
序論全体	・資料 No.2	図表については、タイトルやキャプションに統一性を持たせ、わかりやすいものにする工夫が必要と思います。審議会での論議にもあったが、例えばp5の積雪図でも、タイトルにある「最大積雪深の平均値の分布」は学術用語であり、これを市民に伝わる用語に置き換える必要がある。また、p14の図にある「今回調査」の今回とはいつのことなのかかわからない。タイトルのない図表がずいぶんありますが、しつこくならない程度で記入した方がよい。 図表を多用しておられることは、文書全体にリズム感を与えている。しかし、第2章 第2節や第4章などには図表がないため、通して読んでいくといきなり文字ばかりの情報となって、「固く」感じる。大変な作業とは思いますが、「全体に図表を配置する」構成に心がけてはどうか。	ご指摘に基づき対応しました。
上越市の概況	・資料 2 5ページ 3「自然環境」	最大積雪深のグラフは、秋田や金沢などの日本海側の県庁所在地と上越市を並べると一目で特性が理解される。見せ方を工夫してはどうか。	県庁所在地に絞り、図表を修正しました。
上越市の歴史・文化	・資料 2 8～11ページ	第2節の上越の歴史について、近代の内容はよいが、前近代について事実認識で気になる箇所がある。 「古代～中世」では頸城郡として記述されているが、「近世」以降の記述がどうしても高田・直江津中心で、「東頸城郡」の印象が薄いように読み取れる。	委員のご指導をいただきながら、修正しました。
上越市の地域特性と潜在力	・資料 2 26ページ 2「人の利」	上越が生み出した人材として、書かれている前島密、小林古径、小川未明のほか、例えば、産業経済に貢献し、今の上越市の基盤を作った人もいる。もう少し広く考えたほうがいい。	近代郵便制度を確立した前島密はわが国発展の功労者であり、また鉄道の発展に尽くした室孝次郎は地域開発者(後の政治家)として地域社会の発展に尽くした人物として、ここでは2名を例として取り上げました。文化の発展に尽くした人物については、一部「歴史」においてもふれています。
上越市のまちづくりの課題	・資料 2 30ページ 2「成熟化社会」	「成熟化社会」という項目は起こしたことはよいが、中身がそうっていない。この部分は少子高齢化で上越市は人口が減っていくが、成熟化社会をもたらしませうというメッセージなのではないか。これが基本方針としてあれば、ここから課題や未来像が議論され、そして施策の大綱につながっていくべきである。概念とつながりをもう少し整理されたい。	第4章第2節において、まずは成熟化社会の到来とはなにを意味するか、そしてそれに対して上越市がどのようなとらえ方や考え方、対応をしていきたいかについて述べました。また、上越市の課題もこの考え方に沿って整理しました。 これに基づき、「序章」～「基本理念・将来都市像」～「施策の大綱」が一連の流れとなるように改善しました。
	・資料 2 28ページ 1「都市の魅力・活力」	中山間地や中心市街地の問題が大事なのは分かるが、逆に上越市ではドーナツ化で周辺部に人口が集中しており、そこでの地域課題も捉えないと市としてバランスの取れた発展ができないのではないか。	「上越市の課題」において中心市街地にふれた記述のなかで、この問題についてふれています。 「土地利用構想」の中で、そのような地域課題をふまえた方針を提示しています。
まちづくり重点戦略	・資料 4 8ページ 4「体系的な学習基盤」	「体系的な学習基盤をつくる」について、初級、中級、上級というピラミッドの絵があるが、こういう形を初めて見て、少し異質に感じた。整理の仕方を変えたほうがよいと思う。 キーワードに括弧付きではあるが「地域まるごとテーマパーク」とある。「テーマパーク」は従来型の町づくりで多用されてきた語であり、本計画の未来志向の観点(「新しいライフスタイル」等)からすると違和感がある。最終的にはテーマが何かによろうが、併記のエコミュージアムやフィールドミュージアム等の方が、上越の地域と環境をより反映した主題(テーマ)を意識化させるのではないか。	ピラミッド型については、対象者となりうる数や難易度、展開の可能性などを考慮して作成したのですが、今回修正させていただきました。 キーワードについては、類似事例などで使用されている言葉などを記載し、あくまでも重点戦略の内容をイメージいただきたいという意図でお示したものです。 なお、テーマパークという言葉については、ご指摘のとおり用いないこととしました。

施策の大綱(まちづくりの基本政策)		直面する課題を解決するためにも将来都市像を実現するためにも、重点戦略が必要であるということを、関連図でより明確に示したほうが良い。攻めの戦略と守りの戦略の両方とも持っているのが、まちづくり重点戦略になると思う。	ご指摘のとおり、攻めと守りの戦略の両方を考慮して作成したつもりではありますが、うまく表現できるよう引き続き検討してまいります。
	・資料 4 関連図 ・資料 5	重点戦略と施策の大綱は、その名称を見る限りどちらも重要な政策と受け取れる。そうであるならば、施策の大綱は分野別にせず、重点戦略にあわせて体系を組みなおした方が良いのではないかと。このように分野別にやっていると、例えば都市政策と農業政策、都市政策と商業政策がいつまでも分離したままである。これができる日本中に誇れる総合計画になると思う。	「施策の大綱」は、実質的に網羅的な政策体系を表現していますので、名称を見直し「基本政策」としました。 あわせて、構成を見直し一部修正しました。例えば、都市整備に関しては、その整備目的がわかるように配慮しています。 「重点戦略」は、ご指摘のような内容となることを目指しています。基本計画に記載する「重点プロジェクト」の精査にあわせて、最終的にはそのような表現ができるよう検討してまいります。
	・資料 5	全体として縦割りの印象が強く、横の連携が見えにくい。もっと横断的な発想と体制作りが必要ではないか。例えば、観光であげられている「大規模なイベント」は発想自体が古いように思われる。	横の連携については、「重点戦略」で対応します。 観光の部分については、ご指摘の点に配慮し、記述を修正しました。
	・資料 5 共通の政策 1 自立・共生 (2) 市民社会の共生	総論としては異論ないが、上越市としての切実性が不明確でわかりにくいと思われる。	この項は、多分に人の深層心理にまつわることから、現状認識の点において受け手の立場から見た記述に止めています。ご理解くださいますようお願いいたします。
	・資料 5 分野別の政策 1 生活・環境	生活環境分野では「利雪」があげられているが、内容が不十分である印象を持った。	ご指摘に基づき、雪冷熱の民生利用の観点を追加しました。
	・資料 5 分野別の政策 3 産業経済	産業経済分野の基本目標に「なりわいが元気で活力あるまち」は言葉として理解できない。例えば「活力あるなりわいが可能な元気なまち」など伝わる、柔らかい言語にしてほしい。	ご指摘の基本目標の言葉づかいについては、政策の位置づけを見直す中で、全面的に修正しました。
		「上越ブランド」があげられているが、「米」などの商品に限定する必要はなく、景観などを含め多様な分野のものを「上越ブランド」として認定・評価していくことが必要だと考える。	ご指摘の点に配慮し、記述を修正しました。
		国の政策が大規模農業、担い手農家の育成に偏っている中で、上越市では二町歩とかの小規模農家も非常に大事であるという方向を出してほしい。 「第1次・第2次産業(第一次産業・第二次産業と書くと思うが)」をひとくりにせずに、それぞれ独立で位置づけてはいかか。製造業や中小企業の活力を引き上げるためにはもっと字数を割いてもいいのではないかと。	ご指摘のとおり、項目を別に構成しました。 小規模農家については、左記の視点に基づく記述を加えました。
		「情報通信分野」は第三次産業の中、あるいは「先端産業」として別項を立てて論じてはどうか。	ご指摘は重要な視点と認識していますが、「先端産業」については産学官連携や研究開発支援の中で振興を図る旨、記載しています。
	・資料 5 分野別の政策 4 教育・文化	文化も教育と同じ器の中に常に入れられているが、固定的、変わらないものとして「文化」を閉じ込めているように思われる。 一例として、安塚区・牧区・浦川原区などに展開する棚田はりっぱな観光・文化資源である。	ご指摘の視点を踏まえ、地域ブランドや地域おこしの視点として、各まちづくりプランの記述に活用の視点を反映させました。 また、活用のためには、地域の歴史・文化に対する市民の理解と価値観の共有を図り、まちづくりの求心力としていく必要があるとの認識から、「歴史・芸術文化ふれあい共感プラン」として記述を修正しました。
歴史・芸術文化で、「埋蔵文化財センターを核とした文化財情報のネットワーク構築」があげられているが、現状では埋文センターのみではネットワークの構築は困難で、上越市立博物館・文書館準備室と三者の連携で行うことが必要であると考えます。		ご指摘に基づき、記述を修正しました。ネットワーク構築にあたっての基本方針については、基本計画の中で検討したいと思っております。	